

1 - 7 北海道東方沖の大地震に前駆した地震活動

Premonitory Seismic Activities Associated with Large Earthquakes off East Coast of Hokkaido

北海道大学理学部
Faculty of Science, Hokkaido University

1980年2月23日の色丹島沖地震（M 6.8）の約1週間前から、本震から北東へ約200 km離れた場所で顕著な地震活動がみられた¹⁾。同じような例が、1969年北海道東方沖地震（M 7.8）²⁾、1973年根室半島沖地震（M 7.4）³⁾の場合にも報告されているので、ここでこの3例をまとめて示しておく。

釧路沖からエトロフ島沖にかけての海溝寄りには大小の地震がいきみだれて発生しているようにさえみえるが、ここで述べたような地震活動の特性を確立することが出来れば地震予知上も有用であろう。 (本谷義信)

参 考 文 献

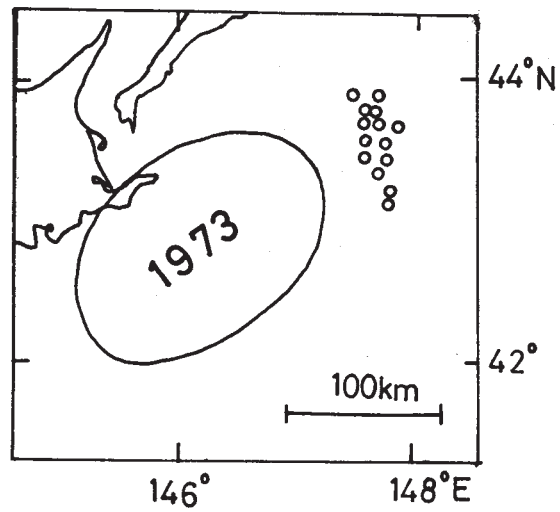
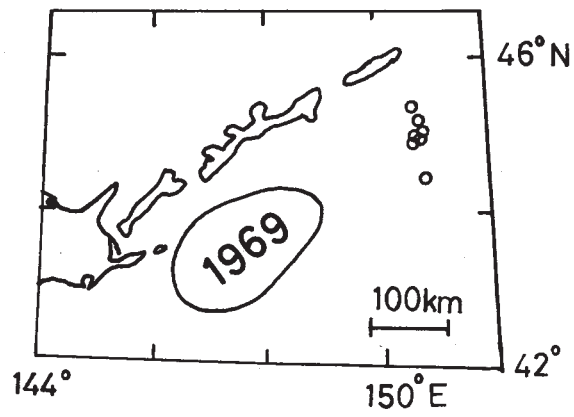
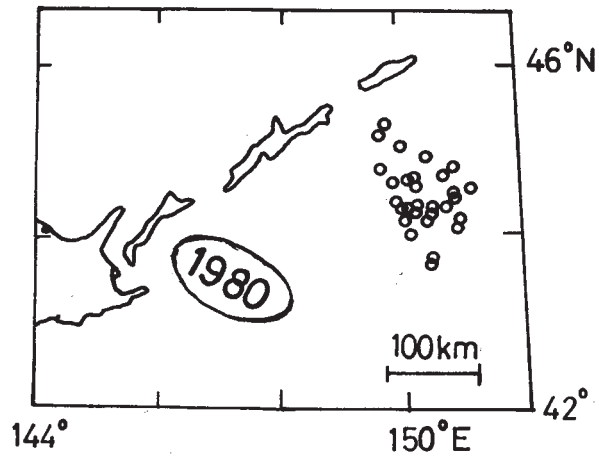
- 1) 北大理学部：1980年2月23日色丹島沖地震（M 6.8）について，連絡会報，**24**（1980），9 - 11.
- 2) 本谷義信：1969年8月12日根室東方沖地震の余震活動，北大地球物理研究報告，**24**（1970），93 - 106.
- 3) 高波鉄夫：1973年6月17日根室半島沖地震の震央，余震域，走時，根室半島沖地震調査報告（1974），164 - 185.

第1表 前駆的地震活動の状況

Table 1 Description of premonitory seismic activities.

前駆活動中の主な地震				前駆活動の状況			大地震(主活動)		
date	time	M	remark	T	D	n	date	time	M
1980 Feb.	15 21 ^h 14 ^m	5.1	前震	1週間	200km	主活動までにRCEPで震源の求まったものの32個	Feb. 23	14 ^h 51 ^m	6.8
	15 23 25	5.7	本震						
	16 00 01	5.5	最大余震						
1969 Aug.	02 08 44	5.8	本震	10日	200km	主活動までにKMUで観測されたもの22個	Aug 12	06 12	7.8
	02 09 35	5.3	余震						
1973 April	05 06 51	5.0	} 前震 第1本震 第2本震	2ヵ月	100km	April 07までにKMUで観測されたもの36個	June 17	12 55	7.4
	05 08 57	5.0							
	06 07 17	5.4							
	06 10 48	5.4							

T : 前駆活動が始まってから大地震発生までの時間, D : 前駆活動域と大地震の震源域の間の距離,
n : 前駆活動に含まれる地震数。



第1図 大地震の震源域（楕円）とその前駆的地震活動の震央（白丸）分布

Fig. 1 Focal region of large earthquake (ellipse) and location of its premonitory events (open circles).